

## 今後の調査・分析に向けた事故の全体構造整理（素案）について （事前対策及び当日の避難行動関連）

### 〈本整理の目的〉

今後、検証委員会として調査・分析を進めるに当たり、主に以下のような理由から、現時点で、検証対象となる事故の全体構造について整理することが必要と考えられるため、本整理を行った。

- 第1回委員会にて合意された「疑わしきは取り上げる」という視点に立ち、事故の発生・被害拡大に関与した可能性のある要因については、幅広く網羅的に検討を加えることが必要。
- 2つの作業チームで分担して調査を進める「事前対策」と「当日の避難行動」の間には構造的な関連性があるため、その関係を全体整理して認識を共有した上で分担作業を進めることが必要。
- 亡くなられた方のご遺族、行方不明児童の保護者の多くが「知りたい」と思っている疑問（「あのとき何があったのか」「なぜこんなことになったのか」など）を解明し、これに答えていくことが本検証の役割であることから、それらの「疑問」を網羅的・体系的に整理しておくことは有効。

### 〈検証の対象となる「事故」の定義〉

大川小学校の児童・教職員（及び近隣住民等）が、津波の来襲する前に安全な場所へ避難できず、被災したこと。

〈全体構造整理（素案）〉 ⇒次ページ

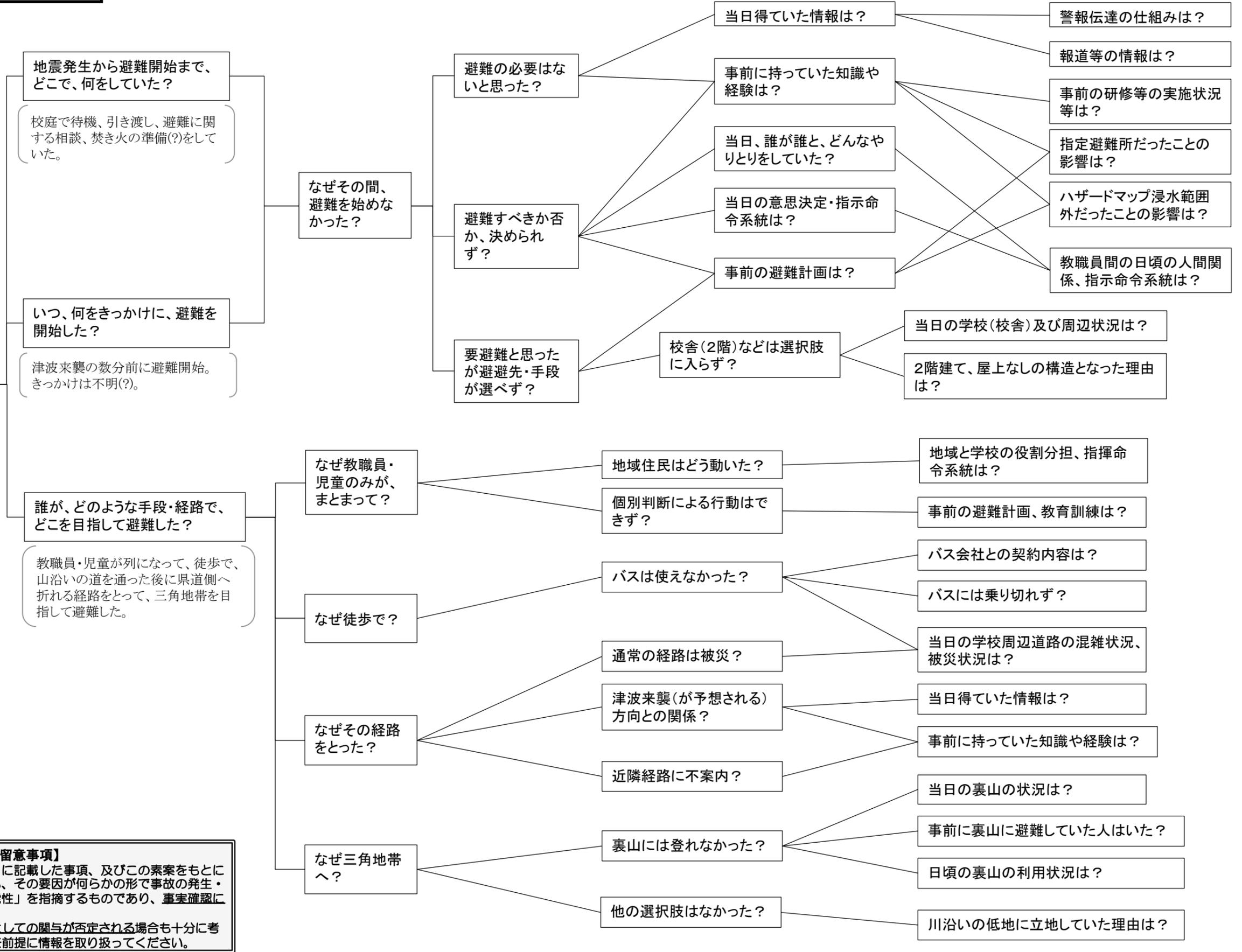
#### 【留意事項】

この「全体構造整理（素案）」に記載した事項、及びこの素案をもとに行う討議の内容は、あくまでも、その要因が何らかの形で事故の発生・被害拡大に関与している「可能性」を指摘するものであり、事実確認に基づいた推定ではありません。

今後、事実確認により、要因としての関与が否定される場合も十分に考えられますので、それを前提に情報を取り扱ってください。

事故の全体構造整理（素案）

大川の児童・教職員（及び近隣住民等）は、なぜ、津波来襲前に安全な場所へ避難しなかったのか？



**【留意事項】**  
 この「全体構造整理（素案）」に記載した事項、及びこの素案をもとに行う討議の内容は、あくまでも、その要因が何らかの形で事故の発生・被害拡大に関与している「可能性」を指摘するものであり、**事実確認に基づいた推定ではありません。**  
 今後、事実確認により、**要因としての関与が否定される場合も十分に考えられますので、それを前提に情報を取り扱ってください。**